週刊 愛知民報

2021年 8月29日 第2551号

発行所 愛知民報社
〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925　FAX(052) 261-6063
定価　月　400円　郵送料168円　1部　100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

共産党　志位和夫委員長 オンライン演説会

衆院比例東海での共産党躍進の力に

9月4日(土) 午後4時

日本共産党の志位和夫委員長が9月4日、同党愛知県委員会のオンライン演説会で弁士を務めます。愛知での志位氏の演説は2年ぶり。衆院議員の任期満了が10月21日に迫り、9月以降はいつでも総選挙の可能性がある中、本番直結の演説です。同党の衆院比例東海予定候補が必勝の決意を表明します。

同党愛知県委員会は、この演説をユーチューブで配信し全県規模で同時視聴するよう準備しています。

◆

同党愛知県委員会は、志位演説を最大の節に、総選挙勝利に必要な8月末までの「2つの目標」――①宣伝の抜本強化とともに、支持拡大運動の担い手を16万人つくる「折り入って作戦」、②前回政党名で投票し（候補者名は無効）、得票数に応じて、政党提出の候補者名簿上位者から当選者が決まります。

日本共産党は、次の比例東海では、もとむら伸子（現）、しまづ幸広（前）、長内史子（新）を名簿登載予定者として発表しています。もとむら再選と、しまづ復活で前回獲得の2議席を奪還し、さらに長内氏の3議席目に挑戦します。

◆

2017年総選挙の比例東海21議席は、自民・公明・維新が11、立憲民主と共産党など野党側が10。共産党が3議席を獲得すれば、与野党逆転になります。共産党は1996年の衆院選比例東海（当時定数23）で、佐々木憲昭、瀬古由起子、平賀高成の3氏を当選させています。

愛知県の比例得票目標は43万。前回得票22万のおよそ2倍。昨年の中央委員会総会で、志位委員長は「わき目もふらず比例での党躍進のための活動に力を集中」することを強調しています。

◆

前進のため全力をあげています。

◆

衆院選は、比例代表と小選挙区の並立制。比例代表選挙は全国を11のブロックに分けて実施され、東海ブロックは、愛知・岐阜・三重・静岡の4県で定数21。

みんなで視聴しよう

日本共産党愛知県書記長　石山淳一

歴史的なたたかいとなる総選挙が目前です。「五輪より命を守れ」という声を無視してコロナ感染爆発をおこした菅自公政権に国民の怨嗟（えんさ）の声がひろがるもと、菅政権への批判でも、政治を前に動かす提案でも抜群の役割を果たしている日本共産党に注目と期待がひろがっています。大激動の情勢をどうみるのか、日本共産党の躍進をかちとり野党連合政権を実現する展望はどうなるのか、志位委員長に縦横に語っていただきます。ぜひご視聴ください。

愛知7区オンライン演説会

8月29日午後3時　田村智子副委員長

8月29日午後3時から田村智子副委員長を迎えておこなわれる愛知7区オンライン演説会のQRコードは左記のとおりです。

「折り入って作戦」こうやっています

18日におこなわれた日本共産党愛知県委員会の全県議員研修会で、山口清明前名古屋市議が「折り入って作戦」の経験を報告しました。要旨を紹介します。

山口清明前名古屋市議

名古屋市港区でやっている折り入って作戦について発言します。5000人目標で現在500です。堅い支持者とのきずなを深める活動です。具体的に何をやっているのか。

まず、物をそろえる。①お願いの文書②支持カード③比例リーフ④アンケート⑤募金の封筒⑥支持カードを地区委員会に送り返してもらうための封筒です。これだけを入れてセットします。

次に用意するのが訪問先の名簿と地図です。知らない家に行くのではありません。知っている家を1軒ずつ塗りつぶしていく活動です。

基本的に複数で行きます。支持者からは「どうしたの？今日は集金でもないのに」「なんで今日は山口さんまでついてくるの？」というふうにいわれます。そうすると「実は折り入ってお願いが…」という話になります。わざわざ来たということを相手に分かってもらうことが大切です。そして頭を下げて支持拡大のお願いをする。集金のついでにグッズをおいてくるのは折り入って作戦とはいわないと私は思っています。

相手は、党員・読者・後援会員・元読者です。効果が4つあります。①知っているところなので足が出やすい②共産党の自力づくりにつながる③まわった人が励まされる④情勢の変化を生（なま）で知ることができる――です。